

令和7年度 第2回鴨川市図書館協議会会議録

- 1 日 時 令和8年3月17日(火) 開会：午後3時30分
- 2 場 所 鴨川市立図書館 集会室
- 3 出席者
 - 【委員】 齋藤 彩音 委員 (学校教育関係者)
 - 亀田 貴子 委員 (学校教育関係者)
 - 山口 健一 委員 (学校教育関係者)
 - 山口 美紀 委員 (家庭教育の向上に資する活動を行う者)
 - 渡 邊 隆 委員 (学識経験者)

 - 【事務局】 岡安 泰弘 生涯学習課長
 - 白井 淳一 図書館長
 - 洲永美奈子 主査
 - 松本 順子 主査
- 4 欠席者 1名
- 5 傍聴人 0名
- 6 会議概要 別紙のとおり

1 開 会

(事務局 洲永)

本会議まで、事務局の洲永により進行。この会議は委員過半数の出席であり、鴨川市附属機関設置条例に基づき、本会議が成立することを報告。

図書館長あいさつ

(事務局 白井)

本日は年度末でご多忙のところ、令和7年度第2回鴨川市図書館協議会にご参加いただき感謝申し上げます。(3月15日に行われた俳句講座の参加者の句を紹介。開けましておめでとう袋をきっかけに、熱心に読書をするようになり、俳句講座にもきてくれている利用者の様子を紹介。)「開けましておめでとう袋」という企画が1人の市民と図書館を繋ぐきっかけとなった。あらためて図書館は「種を撒く」という仕事が重要だと実感した。今日、皆さんからいただく意見、要望、助言を参考に次年度の指針を作りたいと思う。図書館運営が、図書館員だけの独りよがりなものとならないように、市民にとってより良いものとなるよう協力をお願いします。

(令和7年度第2回鴨川市図書館協議会の開会を宣言)

2 会長あいさつ

(渡邊委員)

第2回の協議会にご多忙の折、参加いただき感謝申し上げます。近年、国内外不安定な状況が続いている。最近インターネットなどで情報収集していたら、読書時間が減ってしまい反省している。この不安定な世情に、子どもたちの健全な育成を思うとき、思考力、判断力、人を慮る心を育むために読書は大切であると改めて感じている。しかしアンケート調査によると、子どもの本離れは否めない。館長の話にもあったが、どうしたら図書館に人を呼び、本に親しんでもらえるかがこの協議会の目的である。皆さん、いろいろな立場から忌憚のない意見を交わしてもらいたい。

3 生涯学習課長あいさつ

(岡安課長)

本日は第2回協議会に参加いただき、改めてお礼申し上げます。図書館に来るといつもきれいに整理され、季節ごとの装飾がなされて、楽しい気分になる。皆さんの助言を受け、館長はじめ図書館員たちが実行しているからだろうと思っている。また、新しい振興計画でも図書館への期待は大きい。本日協議会に公務で参加できなかった教育長も、本を読んで触ることが大前提とした上で、デジタル化の進む時代にハイブリットな図書館を目指すことにも留意されている。ぜひ皆さんの知見をお借りしたいと思う。

事務局より会長に議長として進行を委ねる。

(議長)

議題に入る前に、今回の議会録の署名人に山口美紀委員を指名する。

(山口美紀委員)

承諾する。

4 議題

(1) 令和7年度鴨川市立図書館事業中間報告について

(事務局 洲永)

令和7年度鴨川市立図書館事業中間報告の前に、前回第1回協議会において、山口美紀委員より頂いた提案について回答する。

①キッズタイムの導入について

当館は児童室が一般書架と別になっている。また毎月開催される「おひざにだっこのおはなし会」の終了後、集会室を開放している。小さい子どもが泣き出してしまっても、ふれあいルーム(休憩室)の使用が可能である。

以上をより周知させ、キッズタイムの代替としたい。

② 各公民館へのたいようくんボックス（本のリサイクル）の設置について

公民館長会議において提案したところ、図書の寄贈についての問い合わせは多いそうである。しかし各公民館において寄贈本とリサイクル本の区別や管理は難しい。図書館もすべての公民館の図書の管理はできないが、分室の運営は丁寧にしていきたい。公民館に寄贈やリサイクル本への問い合わせあった場合は、図書館に連絡いただき判断することとする。以上回答とさせていただきます。

資料P 1～3を基に説明。

（議長）

只今の報告について、意見・質問はないか。

（山口健一委員）

映画会についての感想だが、こどもフェスタの際は（保護者含め）34名の参加だが、大人向けの映画会では9名。館長の話にもあったが、何か違うきっかけでも、参加が増えるのではないかと思った。

（亀田委員）

「子ども1日図書会員」について、2回開催されているが参加者はそれぞれ違うのか。同じ生徒が参加するのか。

（事務局 洲永）

それぞれ違う参加者である。

(亀田委員)

1回参加した者は断っているのか。

(事務局 洲永)

基本的にはそうである。また参加の希望がある場合は、募集人数に満たなかった場合にのみ加わってもらう。

(議長)

「影絵芝居を楽しもう！」について、当初予定されていなかったがどういう経緯で開催されたのか(同日開催の)土曜スクールとは何か関係があるのか。

(事務局 洲永)

きっかけは、図書館あてに無料試演会を開かないかと、晴琉屋フン氏よりメールを頂いたことである。晴琉屋氏は館山市在住のパフォーマーで館山市図書館でも試演を行ったことがある。土曜スクールについては、以前から予定していた。2月14日に開催できれば西条土曜スクールの子どもにも鑑賞してもらえるので同日となった。

(議長)

39名の参加があったが、多くは土曜スクールの子どもたちか。

(事務局 洲永)

当時はインフルエンザの流行もあり、土曜スクールの子どもの参加は11名である。他は募集したものである。

(議長)

千葉県公共図書館協会第6ブロック支部の幹事の活動について、説明を求める。

(事務局 洲永)

幹事の仕事としては、第6ブロックの図書館長会議の開催と職員研修会を行うことである。図書館長会議は7月4日に、当館で行った。情報交換等、いろいろな話、相談ができた。研修は11月6日に行った。茂原市立図書館が3月にリニューアルオープンしたので、現地集合で視察研修を行った。

(2) 令和8年度鴨川市立図書館事業計画(案)について

(事務局 白井)

来年度の事業については、今年度に引き続き「子どもの図書館利用の促進」と新たに「図書を借りる目的以外の利用者に、本を手にとってもらうきっかけ作り」を重点に置き進めたい。事業計画案については、次回協議会でより詳しくお伝えしたいと思っているが、ご意見等あればぜひ伺いたい。

資料P4を基に説明。

(議長)

まずは、これまで行ってきた通年事業について意見はあるか。

(亀田委員)

小中学校へ配本していただいているが、「赤ちゃん絵本の配本」は同様に行うのか。

(事務局 白井)

2ヶ月に一度30冊を子ども家庭センターへ届ける。本の破損があっても補償などは求めず、家庭センターの負担にならないようにしたい。利用者は固定的な様だと聞いているので飽きないように隔月の実施としたい。

(山口美紀委員)

公民館への予約本受け取りサービスについて、来年度から閉鎖される公民館を利用していた人はどうなるのか。

(事務局 洲永)

他の公民館か、図書館に来ていただけるよう、丁寧に案内をさせていただいている。

(齋藤委員)

挨拶のなかで、ハイブリットな図書館の話があった、モニターを利用して情報発信に活用しているそうだが、今後ICTと合わせて何か考えているのか。

(事務局 白井)

当館で電子図書を導入することは、予算的に難しい。図書館のホームページは、青空文庫という電子図書館とリンクしている。それも利用してもらいたい。デジタルサイネージで、イベントや新刊の情報など発信していきたい。

(議長)

図書の利用をしない来館者に本を手取るきっかけ作りを進めたい、との話があった。大変素晴らしい取り組みだと思う。読書習慣の無い人にどのように働きかけたら良いか、委員の意見はあるか。

(齋藤委員)

本を読まずに図書館を利用される方は、何をしているのか。

(事務局 白井)

学習コーナーで勉強をしている中高生。雑誌・新聞を読む人が多い。新聞は毎日のように来館される人もいる。

(議長)

西条土曜スクールの来館が2度あるが、どのようにしているのか。

(事務局 洲永)

代表から受け入れの申し込みがある。ここ数年は、年2回児童各25名位である。

(齋藤委員)

どのような活動をするのか。

(図書館 洲永)

本の読み聞かせ、上映会などである。自分で本を借りて集会室で読む時間もある。図書館で楽しく過ごしてもらっている。

(議長)

私も土曜スクールの運営に関わっているので参考にしたい。次に新規の事業についての意見はないか。

(亀田委員)

絵本キャラクターの工作などは、親子でできるし、本にも親しめる。創作的でとても良いと思う。

(議長)

大人向けの朗読CDタイムについて、山口委員はどう思うか。聞いたことはあるか。

(山口健一委員)

聞いたことはない。

(議長)

どういった作品の人気があるのか。

(事務局 洲永)

時代小説が多い。しかし最近は宮部みゆきや江戸川乱歩なども入ってきている。

(議長)

具体的にはどのように開催するのか。

(事務局 洲永)

集会室でCDを流す。長時間滞在している高齢者や夫婦出来ている方が利用されると思う。朗読CDは沢山あるがあまり利用されていない。作品の紹介ができ、また、「お話を楽しむ会」(実際に人が朗読する)にも興味をもってもらえたら良いと思っている。
Ny

(亀田委員)

「影絵芝居を楽しもう！」はたまたま、申し出があって試演という形で開催されたが、来年度は何かこういった催しはあるのか。館山市図書館で、落語会があったと新聞で知ったが、図書館利用のきっかけとして良いと思う。

(齋藤委員)

定期的に楽しいイベントを開催していて、実際に利用者も増えてうれしく思う。しかし、学生たちは(例えば上映会)などの情報を知らない。ポスター展示など手伝えることがあれば協力したい。

(議長)

図書館で本を読まない利用者に、学習目的の中高生がいるが、最近の学生の読書傾向について山口健一委員に伺いたい。

(山口健一委員)

やはり読書より携帯やタブレットの利用時間が多い。当校は高校では珍しい朝読書を行っているが、読みたい本が見つからないようである。学校司書も本の陳列など工夫をしてくれるが、図書室の利用は少ない。大変悩ましい現状である。

(議長)

外国では、未成年のSNS利用制限や、タブレットで行っていた授業をノートに戻すなど行われている。図書館では紙媒体の資料から情報を提供するのが使命である。館長はじめ図書館員の努力に感謝する。

新規のボランティアの応募状況について伺いたい。

(事務局 洲永)

今回新規の申し込みはなく、以前お休みしていた1名が活動再開してくれる。5種類のボランティア活動を多くの方が複数掛け持ってくれている。

(齋藤委員)

上映会の際、原作の紹介などしているのか。

(事務局 洲永)

原作の本の展示。作者の他の作品を集めたりしている。

(齋藤委員)

イベントに関連する本に興味を持ってもらうのは良い。学習目的の生徒のために関連の図書など置くのも良いと思う。

(山口美紀委員)

ボードゲームを活用するのはどうか。高齢者と子どもの交流になるのではないか。本を読まない人も楽しめるのでは。

(事務局 洲永)

近年、ボードゲームを受け入れる図書館は増えてきている。当館にも数点あるが、壊れやすく、高価なので貸し出しはしていない。現在は、イベントなどで活用している。ボランティアの協力で、ルールを教えている。一定の人数と、教える人が必要になる。しかしボードゲームを利用していく機会が増えれば浸透していくかもしれない。

(議長)

検討してみて欲しい。ボードゲームの話から、様々な年代の人が参加できるようなものがあるといいと思った。他にないかあるか。

それでは、以上を持って本日の議事を終了とする。進行を事務局にお返しする。

(事務局 洲永)

5 その他

特になし。

6 閉会

令和7年度第2回鴨川市図書館協議会の閉会を宣言。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をいたしました。

令和8年4月7日

署名人

山口 美紀